

ターボハムログ QSLカード印刷編

～～ ハムログデータを印刷しましょう ～～

- ハムログを使ってQSLカードを作り、データを印刷する方法とQSLカード印字修正方法を記載しました。
- ・ハムログは、メーカー製QSLカードに印刷する場合や自作QSLカードを作る場合簡単に行えます。
- I. ハムログソフトにある雛形を修正し自局のQSLカードが作れます。
- II. 自局のQSLカードに移動先や写真を挿入し、独自のQSOカードが作れます。

I. ハムログから雛形QSLカードを選択

[オプション] → [QSLカード印刷]を選びます。

① [定義ファイル]をクリックし、[Hamlog]内にある下のような印刷ファイルと呼び出します。

アドカラー2. qsl、ONOUE1. qsl、白紙縦. qsl
jg1mou3. qsl、JG1MOU. qsl、白紙縦3. qsl

●メーカー製QSLカードをお持ちの方は、メーカー名のQSLカードを、お持ちでない方は、白紙を選んで下さい。

② [イメージ]をクリックします。

「QSLカードのイメージ」が出ます。概ね自分の希望に合ったファイルが見つかりましたら、そのファイルを自局の「QSLカード用」に編集します。

★始めに自分のコールサインを付けて保存します。

[イメージ]画面でしたら[ファイル]→「戻る」をクリックし、「ファイル」→「名前を付けて保存」します。

★次ぎにQSLカードを自局用に書き換えます。

[編集]をクリックします。[QSLカード編集画面]に変わります。(右下の画面は白紙縦3. qslです。)

③ 右側の「**注釈**」(#Print ;住所)を参考にして、QRA、QTH、JCC/G、G. L等を自局用に書き換えます。

#Print 100, 1000, "あなたの住所" ; 住所
#Print 300, 1060, "あなたのコールサイン" ; コールサイン

上の枠のような記載が下の方に在りますので「あなたの住所」「あなたの名前」等の所に自分の「住所」「名前」「コールサイン」に書き換えます。(右側に他にも注釈が在りますが今はパス)

④ 「ファイル」→「戻る」、「ファイル」→「上書き保存」で保存します。

⑤ 「編集」→「印刷イメージ」をクリックします。印刷イメージがでます。変更した項目を確認します。

不都合の場合は、「ファイル」→「戻る」で修正を繰り返します。
雛形の「印刷ファイル」が「自局用」になりましたか？

⑥ 「ファイル」→「戻る」、「ファイル」→「上書き保存」で保存します。

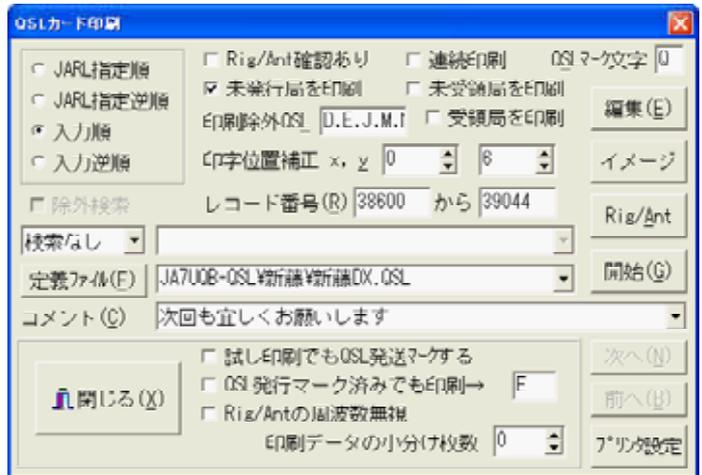
⑦ 概ね良好でしたら「試し印刷」します。
⇒ ハガキ大のメモ用紙をプリンターにセットします。

⑧ 「編集」→「試し印刷」をクリックすると印刷されます。
メーカー製QSLカードをお持ちの方は、「試し印刷」されたカードを自局のQSLカードに合わせてみます。

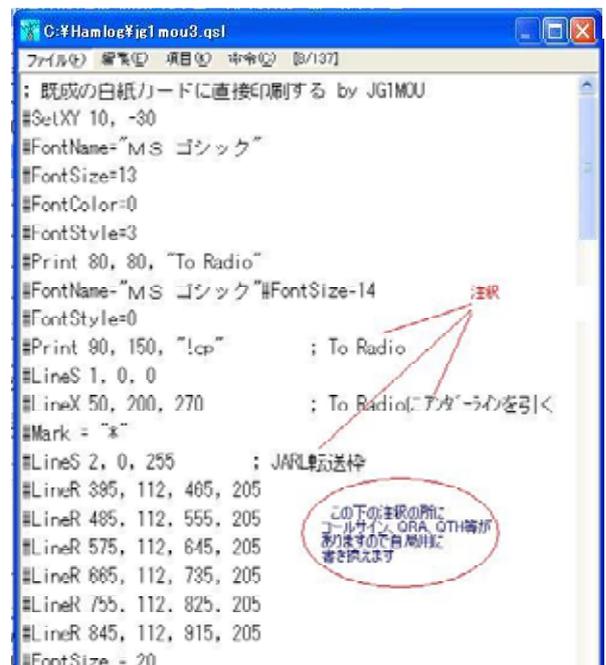
⑨ 全体的にズレている場合は、一番上”#SetXY 10,-30”の値を変えます。

[例 10 が X 値で左側から 1mm、-30 は Y 値で上から更に上へ 3mm から印刷を開始せよ、という意味です]
⇒ マイナスを付けると紙からはみだすと思いますが、プリンターの特性ですので気にしないで下さい。

⑩ 部分的にズレている場合や別項目が印字された場合は、次ぎのページ「QSLカード編集」で修正します。



【QSLカード印刷の画面】



【QSLカード編集画面の一部】

★★ QSLカード印刷

★始めに、QSLカード印刷の設定を行います。

[オプション]→[QSLカード印刷]をクリックします。[QSLカード印刷の画面]に変わりますので設定を行います。

①初めは、連続印刷は避けた方が良いと思います。

②[QSLマーク文字]は、[入力データ画面]「QSL蘭」の2文字目に入る”印刷済みマーク”です。(自分で決めます)

※[データ入力画面]の右上「QSL蘭」には3文字が入ります。左側に”J”が入っています。[注1]

中央の文字は、QSLカード印刷済み(発行済み)の文字です。印刷終了時に自動で入ります。[注2]

右側の文字は、QSLカード受領済み”*”マークをQSLカード受領後に入れます。[注3]

③[印刷除外QSL]は、QSLカードを印刷しないデータです。「QSL蘭」1文字目の指定されたカードを除外します。カンマ”,”で区切り複数の文字が指定できます[例:D,M,N]。なお、印刷したい時はその文字を削除します。

④[印字位置補正x、y]は、QSLカードを印字した時、全体的にズレている場合に微調整します。

⑤[レコード番号]は、印刷する範囲を指定します。「印刷開始番号」と「印刷終了番号」を入力します。

⑥「印刷順番」は、印刷の順番を決めます。初めは「入力順」が良いと思います。

==>QSLカードの複数データ(FiveQSO.qsl)を印字する場合は、「JARL指定順」か「JARL指定逆順」に必ず指定します。

⑦コメントは、ここにコメント(短文)を入力するとQSLカードに印刷します。空白でも良いです。

(QRA+コメントの印刷も可能です。)また右の▼矢印をクリックすると以前印刷した文が出ます。

⑧プリンタ設定は、いつも使うプリンタになっています、用紙は「はがき」を選んで下さい。

★QSLカードを印刷しましょう

上の設定が済みましたら印刷をしてみます。

①右側中央の[開始]をクリックします。下側に印刷データが表示されます。

また右側が[中断] [前へ] [次へ] [印刷] に変わります。

②このデータで良ければ[印刷] をクリックします。印刷が始まります。

③<印刷位置ズレはありませんか?> 「印刷位置補正x、y」で修正できます。

④継続して印刷する場合は [印刷] を、中止する場合は [中断] をクリックします。

[注1]1文字目には”J”が入っています。[例えば”J”はJARLビューローへ、”N”は発行しない、”D”はダイレクト、”M”はマネージャ経由[注4]、”O”はワンウエー]等のように自分で決めます。

[データ入力画面]の右上 [QSL] 蘭に入力します。

[注2]2文字目は、[QSLカード印刷設定]で「QSLマーク文字」に入れた文字が印刷終了時に自動的に入ります。

[注3]3文字目は、QSLカードを受領した時に”*”マーク入れます。入力方法は、[データ入力画面]の「検索」「コールサイン検索」等でQSOデータを呼出、「編集画面」で [Ins] キーを押し、 ボタンをクリックすれば自動的に入力されます[例、JP*]。但し、他の項目も修正した場合は「Save」をクリック します。

[注4]”M”はマネージャ経由で、ハムログで規程されています。

Remark1か2に@+マネージャコールサインを入力します、JARL転送枠に「マネジャー」のコールサインが、「To Radio」の所に交信した局のコールサインが印刷されます。(JARL転送枠の左上に”VIA”と書きます)

~~~~ QSLカード文字位置の編集(調整) ~~~~~

II. QSLカードの各項目の文字印字位置を調整しましょう

自局のQSLカードにデータを印刷したが一寸ずれたり、項目に別のデータが入ったりした場合に修正します。

①[QSLカード印刷画面]→「編集」をクリックします。「QSLカード編集画面」に代わります。

変更したい項目を、右側の注釈の所から探し出します。

●右の枠の中について

” ; ”の後ろは印刷されません。(注釈として使います)

#Print 100, 1020, “あなたの住所” (印刷命令です)

#Print →プリントしなさい

100, 1020, →最初の数字は、X値:左から10.0mm所に、

2番目の数字は、Y値:上から102.0mm所に印刷せよ(数字の単位は0.1mmです)

“あなたの住所”は、“あなたの住所”の文字列を印刷しなさい。

②項目の位置がずれていましたら数値を変えます。

[例]年の位置を変えたい場合

#Print 140, 424, "IDY" ==> "IDY"は「年」です。

#Print 100, 1020, “あなたの住所” ; 住所
#Print 300, 1060, “あなたの名前” ; 氏名
注意:次の # , ” は消さないように!

項目の変数(!DY)は大文字と小文字で
表し方が違います。詳細はヘルプ参照

元のx、yの数字を十かーに30~40位変化させます。「編集」→「印刷イメージ」で何処が動いたかチェックし調整します。

●他の項目も同様に行ってください。

この作業を繰り返して、良ければハガキ大のメモ用紙に印刷し、自分のQSLカードに合わせて、各項目がキチンと入っているか確認します。

★フォントは、1回目は全部指定します。「命令」→「フォントの指定」や「フォント色の指定」から設定します。

次のフォント命令まで継続します。次からは替えたい所だけ指定します。(他は省略可能です)

#FontName="MS 明朝" ; フォントはMS明朝です。(フォント指定で変えられます)

#FontSize=12 ; フォントサイズが12ポイントです。

#FontStyle=0 ; フォントの形は普通(強調文字やイタリック文字に変えられます。)

#FontColor=0 ; フォント色は黒色です。(フォント色の指定で変えられます)

★項目等の追加は「項目」と「命令」から行います。=>次ぎの「QSLカードに特殊な印刷」で説明します。

★項目等の説明は、「ヘルプ」→「目次とキーワード」→「オプション」→「QSLカード印刷」から「QSLの定義」、「条件命令」、「各項目について」を参考にして下さい。

~~~~~ QSLカードに特殊な印刷 ~~~~~

★★ 自局のQSLカードに少し手を加えてみましょう ★★

★QSLカードに文字列等が追加できます。

★QSLカードに特定の文字列等を印刷します。

[例えば]〇〇記念運用、〇〇コンテスト、〇〇移動、〇〇温泉などをQSLカードに印字したい場合。

A) 定義ファイルに書き込む方法がありますが、その都度書き換えなければなりません。

印刷命令は、#Print 140, 424, " コンテスト" と書き込みます。

B) Remarks1か2の一部分または全部を印刷する場合は、Remarks1か2の文字列を「% %」で括弧します。

印刷命令は、#Print 140, 424, "!R1"(または"!R2")と記入します。

C) 印刷する文字列が多い場合は、データ入力前に「環境設定」「設定2」Remarks1か2に書き込みます。

次回からは「環境設定」「設定2」Remarksのみ書き替えれば楽に行えます。(他にもありますが今回は省略)

【QSLカードに特定の文字を印刷】

①始めに、(例題として記載します)

環境設定「設定2」でRemarks1か2に印字したい文字列を下述のように記入します。

[例] \$I=富谷市政移行記念\$, \$P=富谷市移動\$, \$J=JCC

#0616\$, \$H=〇〇温泉\$ のように入力します。

(“, ” 間のカンマは入れなくても良いです。)

[データ入力画面]のRemarks1か2に

\$I=富谷市政移行記念\$, \$J=JCC#0616\$, \$H=〇〇温泉\$

と自動入力されます。

②次ぎに

印刷した場所(QSLカードで文字が重ならない場所)を探し、右からと上からの距離を測りメモします。

③[QSLカード編集画面]の「印字命令」に追加します。

「QSLカード印刷」→「編集」をクリックします。

印刷命令[例] #Print 140, 424, "!FR" は、何処に入れても構いません。

印刷は上の命令から順に行います。カードが上下して印刷しないようにします。(インク滲み防止のため)

#Printの後の1番目の数字がx(QSLカード左からの距離)で、2番目の数字がy(上からの距離)です。

「文字列等の印刷命令」位置決めは、印刷命令の「y値」に近い所をクリックします。

「項目」→「コメント」→「任意の文字列」を選びます。[#Print x, y, "任意の文字列"]が入力されます。

(または入れたい所の上か下の「命令」をコピーし、そこに貼り付けし修正しても良いです)

#Printの後xとyを先ほど測った右と上からの距離の値を入力し、修正します。

- ・環境設定でRemarks1か2に書き込みます。
- ・\$A~\$Zの26種使い、1つでも複数でも可能です。
- ・Remarksに入る文字数が印字可能です。[注5]
- ・次回からは環境設定「設定2」のRemarksだけ書き換えればOKです。
- ・? Space! "!R2\$A"は、次の1行の命令しか行いません。また指定したRemarks2に"!R2\$A"がなければ印刷しません。前のフォント、サイズ、色等を変えたい場合はこの行の前で指定します。

上枠内を参考にして、[QSLカード編集画面]で印字命令y値の近い所をクリックし、次のように挿入します。

A) フォントの設定を行います。「命令」→「フォント指定」を選びます。

#FontSize=16 ; フォントサイズ16ポイント

#FontColor=0x00400080 ; フォントカラー小豆色

B) Remarks2の「\$I」を印刷します。「命令」→「条件命令の指定」→「? Space文字列空白」を選びます。

後ろに " ! R2I" を加えます。

? Space! " ! R2\$I" ; Remarks2に文字列「 \$I」があれば、次の命令をしなさい

C) 文字列を印刷します。先ほど測った右と上から距離を入れます。

「項目」→「コメント」→「任意の文字列」を選びます。「#Print x, y, "任意の文字列」が入力されます。

#Printの後の1番目の数字"x"と2番目の数字"y"を先ほど測った右と上からの距離に書き換えます。

さらに下のように命令の「文字列」を " ! R 2 \$I" に書き換えます。(以下同じ)

- #Print 160, 500, " ! R2\$I" ; 左から16mm、上から50mmの所に富谷市政移行記念を印刷します
- 同様に入力します。 ↓ ; フォントサイズ変更と富谷市移動を設定します
- #FontSize=10 ; (フォントサイズ変更)フォントサイズ10ポイント
- ? Space! " ! R2\$P" ; Remarks2に\$Pがあれば次の命令をしなさい
- #Print 50, 580, " ! R2\$P" ; 左から5mm、上から58mmの所に富谷市移動を印刷します
- 同様に入力します。 ↓ ; フォント色の変更とJCCを設定します
- #FontColor=0x00000000 ; フォントカラー黒色
- ? Space! " ! R2\$H" ; Remarks2に\$Hがあれば次の命令をしなさい
- #Print 700, 580, " ! R2\$H" ; 左から70mm、上から58mmの所(JCCの後ろ)に〇〇温泉を印刷します
- 他に印刷したい文字列があれば追加して下さい。

「ファイル」→「戻る」、「ファイル」→「上書き保存」で保存して下さい。

「編集」→「印刷イメージ」で確認して下さい。

QSLカードには右のように印刷されます。

位置やフォント色・サイズをチェックし、修正して下さい。

修正しましたら**必ず**「上書き保存」します。

「ファイル」→「戻る」、「ファイル」→「上書き保存」で保存します。

(QSLカード下部の印刷イメージ)

〇〇さん、〇〇温泉はFBでした。(コメントより)

~~~~~

**富谷市政移行記念**

**富谷市移動、JCC#0616**    〇〇温泉

[注5] Remarkに入る文字を多くしたい場合は、(始めにデータのバックアップを取ります)

「環境設定」 「設定6」から「入力可能な桁数の変更」をクリックし、変更したい項目の数字を増やします。

「変更開始」をクリックします。(指示に従います)ハムログが終了します。

再度ハムログを立ち上げ、念のため「設定6」が変更されているか確認して下さい。

また「設定6の項目」の数字を同じく変更し、「保存」をクリックし終了して下さい。

~~~~~ QSLカードに画像を印刷 ~~~~~

★★ QSLカードに写真を印刷 ★★

★QSLカードに写真やイラストを印刷したい場所は前とほぼ同様な操作で行います。

QSLカードに写真などを印刷したい場所(文字に重ならない場所)を決め、左と上からの距離をメモします。

①「QSLカード印刷」から「編集」をクリックします。

QSLカード編集画面に変わります。印字命令の「メモした"y"値付近」をクリックします。

「命令」→「ビットマップを印刷」か「JPEGイメージの印刷」を選びます。

②「写真の場所」と「写真名(ファイル名)」が求められますので指定してします。

先ほどのカーソルの位置に

〔例〕 #Jpg x1, y1, Width, Height, "C:¥Poto¥HAM001. jpg" と印字されます。

A) 印刷位置(x1, y1)にメモした値を入れます。

B) 次に写真サイズを決め、「Width: 幅、Height: 高さ」に入れます。

〔例〕 #Jpg 200, 700, 300, 240, "C:¥Poto¥HAM001. jpg"

<左から20mm上から70mmの位置に、横幅が30mm高さ24mmの大きさに、C:¥PotoフォルダーのHAM001のJPEG写真を印刷せよ>

③写真位置や写真の大きさをチェックします。

「編集」→「印刷イメージ」をクリックし、写真位置や写真の大きさを確認します。

修正しましたら**必ず**「上書き保存」をします。

「ファイル」→「戻る」、「ファイル」→「上書き保存」で保存して下さい。

★ここに掲載しました他に色々な印刷命令があります、「ヘルプ」を使い、フレンドさんに聞きながら独自の自局QSLカードにして下さい。